

マーケットの動き（2024年7月22日～7月26日）

先週の国内株式市場は、前週末比で下落しました。
米大手ハイテク企業の決算内容が嫌気されたことや円高進行などを受け、半導体関連株や輸出関連株を中心にリスク回避を目的とする売りが広がりました。日経平均株価は25日に今年最大の下落幅を記録し、約3ヶ月ぶりに終値が3万8,000円台を下回るなど、7月17日から8日続落となりました。

投資環境見通し（2024年7月）

国内株式相場は下値を切り上げる動き

企業業績については、設備投資の回復に加え、春闘の結果が給与に反映されることや、定額減税も個人消費を支えるとみられることから、業績は次第に切り上がるとみえています。国内株式相場は、日銀の政策修正を巡る思惑や長期金利の上昇圧力が上値を抑える要因とみられます。ただし、企業業績に対する中期的な安心感が広がるにつれて、高水準の自社株買いにも支えられ、国内株式相場は下値を切り上げる動きになるとみえています。

	7月26日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX（東証株価指数）	2,699.54	▲5.64%	▲3.69%	8.08%	18.24%
日経平均株価	37,667.41	▲5.98%	▲5.04%	5.36%	15.30%

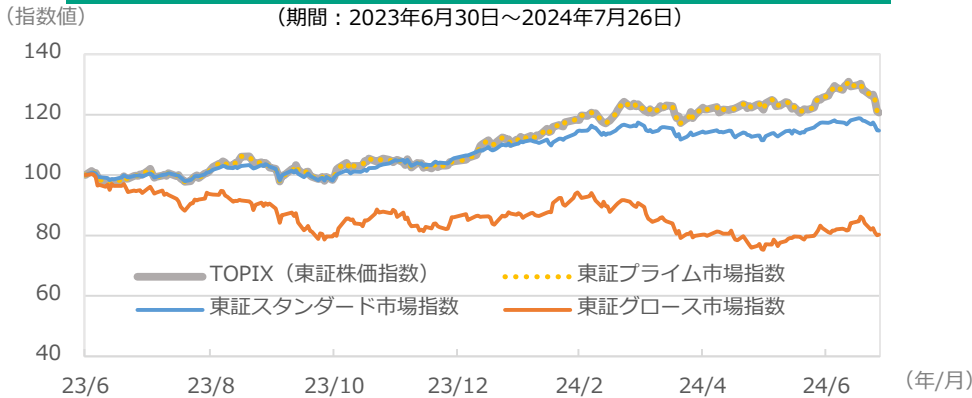
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202407_outlook.pdf

日経平均株価、TOPIXの推移



東証市場別指数の推移



※2023年6月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>